



平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
Tel 093 - 592 - 5000 FAX 093 - 571 - 4346

北九州市民の会

検索

WEB : <http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail : koe@siminnokai.com



5.19 平和をあきらめない北九州ネット 街宣・集会



9.19 戦争法が強行採決された。この日(19日)を忘れない! 9回目の19日(5月)、戦争法廃止を求める抗議行動・集会が小倉駅で開催された。

戦争法は、若者を殺し殺される戦場に国家の命令で送り出す。これほど、いのちの尊厳、人間の尊厳を根底から奪うものはない。国家の命令で人を殺し殺されるために生まれてくる人などいない。私たちは、戦争法反対と人間の尊厳を守る一点で野党共闘はもちろん、広範な国民的共同をつることができる。「戦争はいやだ!」「人として幸せになりたい!」という当たり前の思いで共同することができる。歴史的選択を迫る参議院選まで2か月。戦争か平和かどちらがいいですかという選択だ。国家の命令にしたがって生きるか、自由に生きるかの選択だ。要するに、人間の尊厳を守る政治か人間の尊厳を根底から奪う政治かの選択だ。私たちは、戦争法廃止と人間の尊厳を守る一点で共同し、その力で安倍政権を打ち倒し日本国憲法が輝く未来をめざして堂々と歴史の大道を突き進んでいこう。主催者として。(三輪俊和FBより)

5.22 アベ政治を許さない県民集会

5月22日(日) 14:00 ~ 15:30 冷泉公園で、アベ政治を許さない県民集会が開かれた。1000名の参加者。ゲストスピーカーは、安次富浩氏(辺野古テント村村長)、横田耕一氏(九州大学名誉教授)、宇野朗子氏(「避難の権利」を求める全国避難者の会共同代表)で、それぞれに思いが伝わる素晴らしい挨拶だった。民進党、社民党からのメッセージ代読と日本共産党の仁比代議士が熱い連帯の挨拶で集会を盛り上げた。15:30から天神までデモ行進をした。



アベ政治を許さない!
地NO! 安保法制廃止! 原葬



福岡県自治研が第39回総会を開催

福岡県自治体問題研究所は5月30日、福岡市内で第39回会員総会を開催し、今年度の事業計画・昨年度決算など理事会の提案のすべての議案を満場一致で採択しました。会員など71人が参加しました。



議事に先立って、多賀直恒氏(九大・名大名誉教授)が「熊本地震」に何を学ぶか、徳本正彦氏(九大名誉教授)が「生活の政治」の確立をめざして」と題してそれぞれ記念講演しました。

議事では、1,000万円の基金を活用した新規事業の検討、若い会員の拡大が今後の課題として提起されました。

村野藤吾の八幡図書館解体を止める 緊急署名・実行委員会



4月21日、八幡図書館の解体業者との契約が結ばれ、5月11日から解体仮設工事がはじまった。「八幡市民会館と八幡図書館の存続問題を考える会」は、八幡図書館解体を止める緊急署名行動を提起し、実行委員会(代表:三輪俊和北九州市立大学名誉教授)を発足させ、1万人の署名を目標に活動している。実行委員会は、連日の朝宣伝(7:00~7:30)と図書館前にテントを張り、9:00~17:00、市民にアピールし、署名活動を続けてきた(写真)。4月29日から始まった署名活動は、当初予定していた5月27日、秘書室を通じて市長あてに提出した(3979筆)。同日10:00~10:55 病院局長、教育委員会総務部長(市側6名)と実行委員会5名が対談・解体中止を要請した。11:00~11:30 記者会見。14:00~14:30 戸町武弘市議会議長と面談・要請した。外壁レンガ取外し工事が始まる5月31日には、最終的な緊急署名を病院局参事(新病院整備担当)に手渡し抗議した。図書館解体を止める活動は、「存続問題を考える会」に間断なく引き継がれる。

小倉南革新懇第6回総会に46名参加!

6月4日(土) 14:00～16:00
小倉南生涯学習センターでは、明るく活気に満ちた革新懇総会が開催されました。記念講演では、真島省三衆議院議員が「国会報告と国民連合政府の展望」を熱く語りました。7月10日の参議院選挙への取り組みと2016年度の小倉南革新懇の活動方針を決めました。



第4回「九州うたごえ祭典」実行委員会開催

6月5日(日) 17:00～19:00、戸畑生涯学習センターで、表記の実行委員会が開催された。県外からの参加者はなく、北九州のうたごえサークルの皆さんを中心に10月8日(土)の九州うたごえ発表会のプログラムを検討した。特に青年合唱の参加者を組織することが課題になっている。



全国総がかり行動に呼応し、小倉駅で集会 平和をあきらめない北九州ネット主催



6月5日(日) 14:00～15:00
戦争法反対、安倍政治を許すな!そのための野党共闘を訴える集会が小倉駅前で開催され、約300人が参加。憲法劇のあと、野党3党の代表が挨拶。社民党の予定候補、民進党の城井元衆議院議員の挨拶。日本共産党からは、しばた雅子予定候補が「全国32の1人区での野党統一候補の勝利と、日本共産党の躍進・勝利を目指し頑張る決意を語りました。」

野党共闘で政治を転換させる絶好のチャンス

6月22日公示、7月10日投開票で参議院選挙が実施されることとなりました。

安保法制(以下戦争法)の採決を強行した安倍政権に反対し「戦争法

廃止」を掲げ、青年や母親などによる新たな市民団体が発足、多くの市民運動がひろがり、これに背中を押されるように、参院全1人区で、野党と市民が結束し、国民の手で政治をつくる野党共闘が実現しました。

今こそ、政治を転換させる絶好のチャンスとなっています。

2016年度北九州革新懇総会を開催

6月11日(土)、戦争法廃止へ野党・市民の共闘で参議院選挙を必ず勝利しよう!というスローガンを掲げて革新懇総会が開催されました。記



念講演では、田村貴昭衆議院議員が、参議選をめぐる情勢をパワーポイントを使って、熱く語ってくれ、参加者全員、感動しました。福岡県革新懇事務局長の平川氏からも共闘の挨拶を受けました。各区革

新懇の活発な活動報告に励まされながら、2016年度北九州革新懇活動方針と予算案が採択されました。

「自治体で働く青年のつどい」に 市職労から2人の青年が参加

6月4～5日に広島で行われた、自治労連青年部主催の「自治体で働く青年のつどい」に市職労から2人の青年が参加しました。本つどいの目的は、「戦後70年をむかえ、被爆者から戦争体験を聞く」でした。



1日目は、「70年を経て今思うこ

と」と題して5歳の頃に被爆された方の話でした。原爆により、両親と死別したこと。8月6日原爆投下の候補に挙げられていたのは他に3都市あり、京都、新潟、小倉。京都は重要な文化財があり壊したくない、新潟は都市規模が小さく原爆の威力とその後の研究が得られない、小倉は基地から遠く往復に懸念があったとのことで選ばれなかった。次代を担う若者に願うことの話でした。

2日目は、分散会。1日目で聞いた話から戦争が起きた時のイメージし、すべきことをグループ討議。修学旅行生に講和を開いても、うまく伝わらないことが増えている。戦争の記憶と風化は着実に進んでおり、戦争経験者たちから生の声を聞ける最後の世代と言われている私たちが責任をもって次の世代へと受け継いでいかなければならないと感じた。

全体を通して、被爆体験者の話が聞けたこと、全国の青年と交流ができたこと、非常に有意義なつどいであったとの報告がありました。



今後の予定

○第201回さよなら原発金曜行動

日時：7月1日(金) 18:00～19:00
場所：小倉駅デッキ

○「くらしと福祉」編集委員会

日時：7月4日(月) 10:00～
場所：医福研

○第202回さよなら原発金曜行動

日時：7月8日(金) 18:00～19:00
場所：小倉駅デッキ

○第203回さよなら原発金曜行動

日時：7月15日(金) 18:00～19:00
場所：小倉駅デッキ

○第204回さよなら原発金曜行動

日時：7月22日(金) 18:00～19:00
場所：小倉駅デッキ

○西尾正道氏演説会

日時：7月23日(土) 18:30～
場所：ウエルとばた多目的ホール 500円

○第205回さよなら原発金曜行動

日時：7月29日(金) 18:00～19:00
場所：小倉駅デッキ